

令和 7 年度 村政懇談会（大塩地区）開催報告

令和 7 年 11 月 20 日、大塩地区生涯学習センターにて「村政懇談会（いまトーク）」を開催いたしました。 本年度の懇談会は、2050 年の将来推計データを共有し、厳しい現実を直視しながらも、持続可能な村づくりのために「いま」何が必要か、住民の皆様と行政が共に考える場として実施されました。

当日は 14 名の皆様にご参加いただき、高齢化が進む集落の維持や、定住促進のための情報発信、空き家対策などについて、切実かつ前向きな意見交換が行われました。

開催概要

- **日時**：令和 7 年 11 月 20 日（木） 19 時 00 分～20 時 30 分
- **場所**：生涯学習センター
- **出席者**：地域住民の皆様 14 名、村長、副村長、教育長、総務企画課長、企画室職員

当日の主な議論（概要）

村より、2050 年の人口・産業推計などを説明した後、人口減少対策や地域の課題解決に向けて、以下のテーマで活発な議論が交わされました。

1. 人口減少・定住と集落維持について

【住民からのご意見】

- **集落存続への危機感**：下川前などの集落では高齢化が進み、電気・水道などのインフラ維持費の負担が重く、今後の存続に不安がある。大塩地区全体でも単身・高齢世帯が多く、強い危機感を持っている。
- **生活の質の向上**：若い世代は「生活の質の向上」や「将来負担の軽減」を求めている。買い物環境や交流の場、子育て支援など、暮らしやすさの底上げが必要。
- **懇談会のあり方**：参加者に女性や子育て世代が少ない。より多様な意見を吸い上げるため、かつての行政区単位での開催など、若年層や女性が参加しやすい形式を検討してほしい。

【村の考え方】

- 平野部の自治体とは地理条件が異なりますが、北塩原村なりの「暮らしやすさ」を追求します。懇談会の開催方法についても、より多くの方が参加しやすい形を再検討します。

2. 生活環境・空き家・鳥獣対策について

【住民からのご意見】

- **空き家問題**：外国籍所有者など連絡がつかない空き家からの落雪や、維持管理不全が地域住民の負担となっている。村による支援を求める。また、廃墟となっている旧ホテル「すずかわ」は地域の懸案であり、景観・安全面から早急な対応を要望

する。

- **鳥獣対策**：耕作放棄地が鳥獣の隠れ場所となり被害が拡大している。森林整備や緩衝帯の設置を、計画的かつ継続的に実施してほしい。

【村の考え方】

- 空き家については、危険性の高い物件への対応を検討します。「すずかわ」問題については、法的整理を含め議会と協議しながら対応策を検討します。
- 鳥獣対策は専門員の配置を含め、全村的な体制強化と国・県への要望を継続します。

3. 情報発信・雇用・人材確保について

【住民からのご意見】

- **子育て支援の PR**：北塩原村の子育て支援は他市町村と比較しても非常に充実しているが、それが伝わっておらず「不便」というイメージが先行している。「移住の選択肢」に入るよう、良い点を強力に発信してほしい。
- **広域連携**：人口減少は会津全体の課題であり、近隣自治体との連携や広域的な発信が必要ではないか。
- **地元雇用の促進**：役場職員などへの地元出身者の採用が少なく、地域の担い手不足が心配される。

【村の考え方】

- 子育て支援策などの強みを、近隣との奪い合いではなく「会津エリア全体」として外へ向けて発信・PR していきます。職員採用については、社会人採用枠の活用などを含め、人材確保に努めます。

4. その他（地域おこし協力隊・地域資源など）

【住民からのご意見】

- 協力隊の住居**：地域おこし協力隊の住居として、既存の空き家（古民家等）をあえて活用し、改修しながら住んでもらうような「したたかな」選択肢もあって良いのではないか。
- 地域の賑わい**：道の駅やかつての生活拠点（ラビスパ等）の賑わいが薄れ、喪失感がある。魅力ある拠点づくりを期待したい。